

2013年度第3四半期（2013年7月～9月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証市場第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2013年10月29日（火曜日）

2. 業 績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,886	百万ドル 6,847	% -14.0	百万ドル 18,138	百万ドル 18,989	% -4.5
税引前当期純利益	百万ドル 1,069	百万ドル 1,480	% -27.8	百万ドル 3,788	百万ドル 3,423	% 10.7
当期純利益	百万ドル 702	百万ドル 1,017	% -30.9	百万ドル 2,483	百万ドル 2,285	% 8.7
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.51	ドル 2.17	% -30.4	ドル 5.34	ドル 4.90	% 9.0
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.50	ドル 2.16	% -30.6	ドル 5.31	ドル 4.87	% 9.0

配当金の推移		
	当年度（2013年度）	前年度（2012年度）
第1四半期	0.35 ドル	0.33 ドル
第2四半期	0.35	0.33
第3四半期	0.35	0.33
第4四半期		0.35
合計	1.05 ドル	1.34 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート部
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2013 年度第 3 四半期の業績を発表

2013 年度の 1 株当たり事業利益目標を確認

2014 年度の 1 株当たり事業利益成長目標を提示

2013 年度及び 2014 年度の自社株取得目標を上方修正

四半期現金配当を 5.7%増額

ジョージア州、コロンバス - 2013 年 10 月 29 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」) は本日、2013 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 68 億ドルから 14.0%減少し、59 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 10 億ドル (希薄化後 1 株当たり 2.16 ドル) から 7 億 200 万ドル (同 1.50 ドル) となりました。

前年同期の当期純利益には 1 億 8,600 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.39 ドル) の税引後資産運用実現損 (実現益とのネット) が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1,500 万ドル (同 0.03 ドル) の税引後資産運用実現益 (実現損とのネット) が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は 4,700 万ドル (希薄

化後 1 株当たり 0.10 ドル) でした。税引き後ベースの当四半期の減損額は 600 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル) でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後で 400 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル) でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現損 (ネット) は 2,200 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.05 ドル) でした。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益 (米国会計基準 GAAP 外の指標) の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他の非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動には、主として通貨スワップ、金利スワップ、連結変動持分事業体におけるクレジット・デフォルト・スワップ、当社が発行する優先社債及び劣後債に関連する通貨スワップ、日本社の運用ポートフォリオとして投資している米ドル建て有価証券に係る為替変動リスクのヘッジを目的とした為替先物取引や金利リスクのヘッジを目的とした金利スワプション、及び将来の円建ての予測キャッシュフローの一部をヘッジするための為替先物取引と通貨オプションが含まれます。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円 / ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円 / ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、日本社のドル建て投資プログラムを含む一部の取引を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的に利用するものであって、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪

められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の事業利益は、前年同期の 8 億 3,100 万ドルから、6 億 8,700 万ドルとなりました。希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期の 1.77 ドルから 16.9%減少し、1.47 ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 0.21 ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益は 5.1%の減少となりました。

年初来 9 ヶ月間の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年同期の 190 億ドルから 4.5%減少し 181 億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の 23 億ドルから 25 億ドルに、希薄化後 1 株当たり当期純利益は 4.87 ドルから 5.31 ドルとなりました。一方、年初来 9 ヶ月間の事業利益は、前年同期の 24 億ドルから 22 億ドルに、希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期 5.12 ドルから 4.78 ドルとなりました。円安ドル高による、1 株当たりのマイナスの影響 0.58 ドルを除くと、年初来 9 ヶ月間の希薄化後 1 株当たり事業利益は 4.7%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2013 年 6 月 30 日現在が 1,039 億ドルであったのに対して、2013 年 9 月 30 日現在では 1,067 億ドルとなりました。

当四半期、当社は約 1,850 万ドル相当（およそ 30 万 8,000 株）の自己株式を取得しました。その結果、年初来 9 ヶ月間の自己株式の取得は合計で 2 億 9,800 万ドル相当（およそ 560 万株）となりました。2013 年 9 月 30 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、1,690 万株となっています。

株主持分は、2013 年 6 月 30 日現在が 137 億ドル（1 株当たり 29.46 ドル）であったのに対し、2013 年 9 月 30 日現在では 147 億ドル（1 株当たり 31.47 ドル）でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益（ネット）は、2013 年 6 月 30 日現在が 2 億 900 万ドルの損であったのに対し、2013 年 9 月 30 日現在では 1 億 3,500 万

ドルの益でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 19.8% でした。事業ベース（当期純利益に含まれる資産運用実現損益（ネット）合計及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブの未実現損益を除く）で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 19.4% でした。また、円安ドル高の影響を除くと、23.0% でした。

日本社

円ベースで見ると、保険料収入は、6.7% 増加しました。投資収益（ネット）は 16.2% 増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約 45% がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。当四半期の日本社の収益合計は前年同期に比べて 7.8% 増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の 19.3% から 19.2% へとわずかに減少しました。この結果には、前年同期と同等の事業費率と、わずかに増加した保険金給付金比率が反映されています。円ベースの税引前事業利益は 7.1% 増加しました。年初来 9 ヶ月間の円ベースの保険料収入は 8.3%、投資収益（ネット）は 13.3%、収益合計は 9.1%、税引前事業利益は 12.6% それぞれ増加しました。

期中平均円／ドル為替レートは、前年同期が 1 ドル＝78.64 円であったのに対し、当四半期は 20.5% 円安ドル高の 1 ドル＝98.93 円でした。一方、年初来 9 ヶ月間の平均円／ドル為替レートは、前年同期が 1 ドル＝79.47 円であったのに対し、17.7% 円安ドル高の 1 ドル＝96.61 円でした。当四半期及び年初来 9 ヶ月間の日本社のドルベースでの成長率は、平均為替レートが前年同期に比べ円安ドル高であったため、それぞれ押し下げられました。

ドルベースで見ると、日本社の当四半期の保険料収入は 15.2% 減少し、37 億ドルとなりました。当四半期の投資収益（ネット）は 7.7% 減少し、6 億 5,900 万ドルとなりました。収益合計は 14.4% 減少し、44 億ドルに、税引前事業利益は 14.9% 減少し、8 億 4,600 万ドルとなりました。年初来 9 ヶ月間の保険料収入は前年同期比 11.1% 減少し、114 億ドルとなりました。投資収益（ネット）は 6.9% 減少し、20 億ドルとなりました。収益合計は 10.4% 減少し 134 億ドルに、税引前事業利益は 7.4% 減少し、28 億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は41.9%減の324億円(3億2,700万ドル)となりました。がん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、12.0%増加しました。予想通り、当四半期には「WAYS」の販売が大幅に減少したため、金融機関窓販は64.9%減少しました。

年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は27.8%減少して1,165億円(12億ドル)となり、第三分野商品の販売はフラットでした。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は3.1%増加し、13億ドルに、投資収益(ネット)は4.2%増加して1億5,900万ドルとなりました。収益合計は2.9%増の15億ドルとなりました。税引前事業利益率は、保険金給付金比率の改善を反映し、前年同期の18.4%から18.5%とわずかに上昇しました。税引前事業利益は3.3%増の2億6,900万ドルとなりました。年初来9ヶ月間の収益合計は3.4%増の43億ドルに、保険料収入は3.5%増の39億ドルとなりました。投資収益(ネット)は3.6%増加して4億7,300万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比5.5%増の8億3,300万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、1.5%減少し、3億3,000万ドルとなりました。また、当四半期の継続率は76.7%で前年同期は76.9%でした。年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は1.7%減少して10億ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2013年度第4四半期支払いの現金配当を5.7%増額し、1株当たり0.37ドルとしました。この現金配当は、2013年11月20日の市場終了時点の登録株主に対し、2013年12月2日に支払われます。この結果、当社は31年連続で増配することになります。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期の日本社の財務業績は、当社の予想や四半期の目標に沿った内容となり、通年の業績についても順調に推移するものと思います。予想通り、第一分野商品の著しい販売減により、当四半期の日本社全体の販売は大幅に減少しました。しかしながら、当四半期の第三分野商品の販売が顕著な増加を示したことを、私は大変喜ばしく思っています。この実績は、8月に発売した医療保険の新商品が成功を収めたことを反映していますが今後も、お客様からご好評をいただくものと期待しています。日本社の第三分野商品の通年の販売は、前年度比フラットから5%増の目標の上限値になるものと、現時点で当社は確信しています。」

「将来を見据えて、私は、日本社の販売システムをさらに強化する当社の能力をととても喜ばしく思っています。ご存知の通り、日本社と日本郵政株式会社はこの7月、新たな業務提携契約を結びました。これにより、日本社のがん保険商品を新たなお客様にお届けするチャンネルと接点がさらに拡大します。この新たな提携は、同時に、全体的なアフラックブランドの強さ、質の高いお客様サービスへの評価、そして当社のがん保険が提供している価値を際立たせるものとなっています。」

「当四半期の米国社の販売は、1.5%減少し、年初来の9ヶ月では1.7%の減少となりました。失業率は改善の兆しを見せているものの、雇用状況は引き続き弱含みであり、特に当社の事業の90%を占める中小企業については、その傾向が顕著です。そのような中でも、当社の商品へのニーズには引き続き強いものがあると当社は確信しており、潜在的なお客様により良く接する機会を作るために、手段を講じて行きます。当社は引き続き、販売部隊やブローカー業界の利益となるような施策を実行するなど、販売能力を向上させて行きます。同時に、当社の強力なブランドと、変化を続ける医療環境に対応した商品群を活用する機会を追求して行きます。」

「私は、日本社の資産運用における年初来9ヶ月の新規投資利回りが、前年同期の2.27%から2.87%へと大幅に上昇したことを喜ばしく思っています。当社の判断で、当四半期は

米国社債への投資を減少させたため、新規投資利回りは下がりましたが、これにより、ソルベンシー・マージン比率に影響する金利のボラティリティを減少させています。日米両国における金融市場のボラティリティに鑑み、当社の投資部門は、資産配分に加えて、金利リスクを緩和する戦略についても、投資機会の選択肢を慎重に検討しています。これを受けて、第4四半期のキャッシュフローの大半は日本国債に配分され、為替リスクをヘッジした米国社債への配分は小さなものになるものと考えています。また、円建ての新規投資の大半は、責任準備金対応債券に区分される見込みですが、このことは円金利の変動からソルベンシー・マージン比率を守る一助となります。このように、当社は第4四半期のキャッシュフローを日本国債に投資しますので、通年の資産配分は、円建債が51%、ドル建債が49%となる見込みです。」

「当社の事業における別の重要な側面は、ご契約者と社債保有者の皆様のために、RBC比率やソルベンシー・マージン比率によって表される、強固な自己資本比率を維持することです。当四半期の米国家定会計基準あるいは金融庁ベースの財務諸表はまだ完成していませんが、2013年9月30日現在の当社のRBC比率は、2012年末の630%を上回り、750%程度となるものと予想しています。2013年9月30日現在の日本社のソルベンシー・マージン比率については、第2四半期末の585%から730%程度になるものと予想しています。この改善は、主として日本における再保険契約の締結によってもたらされたものです。」

「自己資本比率の改善は、自己株式取得を増加させることについて、当社に自信を与えています。当初、当社は本年度に4億ドルから6億ドル相当の自己株式を取得する計画でしたが、現時点では8億ドル相当になる見込みです。また、来年度の自己株式の取得については、従前は6億ドルから9億ドル相当と申し上げていましたが、現時点では、8億ドルから10億ドル相当となる見込みです。また、本年第4四半期に支払われる現金配当を5.7%増額した取締役会の決定を、私は喜ばしく思っています。これにより、当社は現金配当を31年連続で増配することとなりました。当社は一般的に、為替変動の影響を除いた事業利益の増加率に合わせて現金配当を増配することを目標としています。」

「以前に申し上げたことですが、年度の最終四半期に費用が増加するものと見込んでいます。特に、販売プロモーション、広告宣伝、およびIT関連の施策について費用が増加しま

す。今年度3四半期の実績に鑑み、為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益の年間成長率を対前年比4%から7%とする目標を、私はここに再度確認します。この範囲の中で、為替変動の影響を除いた事業利益の年間成長率は5%程度になるものと見ています。もし第4四半期の平均円／ドル為替レートが1ドル=95円から100円の間で推移したと仮定した場合、第4四半期の希薄化後1株当たり事業利益は1.38ドルから1.43ドルの間になるものと予想しています。また、同じ仮定では、2013年通年の希薄化後1株当たり事業利益は、6.16ドルから6.21ドルの間になると予想しています。」

「もし2013年第4四半期及び2014年度の平均円／ドル為替レートが1ドル=95円から100円の間で推移したと仮定した場合、2014年度の希薄化後1株当たり事業利益は、6.28ドルから6.52ドルとなるものと予想しています。これを為替変動の影響を除く成長率に引き直すと、2%から5%増となります。2014年度の1株当たり利益目標は、自己株式取得の進展によって大きな恩恵を受けると同時に、逆風にもさらされています。当社は日本における低金利環境に直面しています。また、日米の業務インフラ拡充のための多額の投資を行っています。さらに、2014年4月には、日本の消費税の5%から8%への増税が控えています。ここで重要なのは、もしこれらの逆風や追い風がないとすれば、2014年度の1株当たり利益成長率目標は2013年度の1株当たり利益成長率と比較して遜色がないということです。将来を見れば、2014年度の逆風は、2015年度には著しく弱まるものと当社は考えています。日本とアメリカという世界で最も有望な2つの市場において、当社がよいポジションにあることを、私は引き続き確信しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売におけるNo.1の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第1位の生命保険会社です。世界で5,000万人以上の方が当社の個人及び団体保険に加入しています。『Ethisphere』誌は7年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に選出しています。また、2013年、『フォーチュン』誌は当社を15年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、12回目

となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカーシンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement)、金融セクターにおける全運用資産の一覧表、永久証券及びユーロ圏周辺国向けの保有有価証券におけるソブリン債及び金融機関債への投資の一覧表は、aflac.com 「Investors」 ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様様を 2013 年 10 月 30 日水曜日午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」 ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
収益合計	5,886	6,847	-14.0%
保険金給付金	3,485	3,932	-11.4%
新契約費及び事業費合計	1,332	1,435	-7.2%
税引前当期純利益	1,069	1,480	-27.8%
法人税等	367	463	
当期純利益	702	1,017	-30.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.51	2.17	-30.4%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.50	2.16	-30.6%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	464,324	467,422	-0.7%
希薄化後	467,391	469,721	-0.5%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.35	0.33	6.1%

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
収益合計	18,138	18,989	-4.5%
保険金給付金	10,417	11,341	-8.1%
新契約費及び事業費合計	3,933	4,225	-6.9%
税引前当期純利益	3,788	3,423	10.7%
法人税等	1,305	1,138	
当期純利益	2,483	2,285	8.7%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.34	4.90	9.0%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.31	4.87	9.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	465,325	466,702	-0.3%
希薄化後	468,052	468,951	-0.2%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.05	0.99	6.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

9月30日現在:

	2013年	2012年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	106,712	124,215	-14.1%
繰延新契約費	9,173	10,283	-10.8%
その他の資産	4,033	3,342	20.7%
資産合計	119,918	137,840	-13.0%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	93,937	104,978	-10.5%
社債等	4,953	4,401	12.5%
その他の負債	6,370	12,476	-48.9%
株主持分	14,658	15,985	-8.3%
負債および株主持分合計	119,918	137,840	-13.0%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	465,710	468,724	-0.6%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
事業利益	687	831	-17.2%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	41	124	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-4	-2	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-22	64	
当期純利益	702	1,017	-30.9%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.47	1.77	-16.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.09	0.26	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.01	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.05	0.13	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.50	2.16	-30.6%

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
事業利益	2,236	2,400	-6.8%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	138	-185	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-12	-2	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	121	72	
当期純利益	2,483	2,285	8.7%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	4.78	5.12	-6.6%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.30	-0.40	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.03	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.26	0.15	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.31	4.87	9.0%

為替変動の業績への影響¹
 (主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2013年9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-11.2%	5.8%
投資収益(ネット)	-5.6%	5.2%
保険金給付金および事業費合計	-10.3%	6.8%
事業利益	-17.2%	-5.5%
希薄化後1株当たり事業利益	-16.9%	-5.1%

2013年9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-7.8%	7.1%
投資収益(ネット)	-5.0%	4.3%
保険金給付金および事業費合計	-7.8%	6.9%
事業利益	-6.8%	4.5%
希薄化後1株当たり事業利益	-6.6%	4.7%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2013年1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2012年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
79.81*	\$6.86 - \$7.06	3.9% - 7.0%	\$ -
90	\$6.37 - \$6.57	-3.5% - -0.5%	\$ -0.49
95	\$6.17 - \$6.37	-6.5% - -3.5%	\$ -0.69
100	\$5.99 - \$6.19	-9.2% - -6.2%	\$ -0.87
105	\$5.83 - \$6.03	-11.7% - -8.6%	\$ -1.03

*実際の2012年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・デリバティブ活動の増加
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES THIRD QUARTER RESULTS,
AFFIRMS 2013 OPERATING EPS OBJECTIVE,
PROVIDES 2014 OPERATING EPS GROWTH OBJECTIVE,
INCREASES 2013 AND 2014 SHARE REPURCHASE TARGETS,
RAISES QUARTERLY CASH DIVIDEND 5.7%

COLUMBUS, Georgia – October 29, 2013 – Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues fell 14.0% to \$5.9 billion during the third quarter of 2013, compared with \$6.8 billion in the third quarter of 2012. Net earnings were \$702 million, or \$1.50 per diluted share, compared with \$1.0 billion, or \$2.16 per share, a year ago.

Net earnings in the third quarter of 2013 included after-tax realized investment gains, net of realized investment losses, of \$15 million, or \$.03 per diluted share, compared with net after-tax losses of \$186 million, or \$.39 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains from securities transactions in the quarter were \$47 million, or \$.10 per diluted share. On an after-tax basis, impairments were \$6 million in the quarter, or \$.01 per diluted share. On an after-tax basis, hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan were \$4 million in the quarter, or \$.01 per diluted share. Realized after-tax net investment losses from other derivative and hedging activities in the quarter were \$22 million, or \$.05 per diluted share.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items. Aflac's derivative activities primarily include: foreign currency, interest rate and credit default swaps in variable interest entities that are consolidated; foreign currency swaps associated with our senior notes and subordinated debentures; foreign currency forwards used in hedging foreign exchange risk and interest rate swaptions used in hedging interest rate risk on U.S. dollar-denominated securities in Aflac Japan's portfolio; and foreign currency forwards and options used to hedge certain portions of forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions that include the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the third quarter were \$687 million, compared with \$831 million in the third quarter of 2012. Operating earnings per diluted share decreased 16.9% to \$1.47 in the quarter, compared with \$1.77 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.21 for the third quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per diluted share decreased 5.1%.

Results for the first nine months of 2013 were also suppressed due to the weaker yen. Total revenues were down 4.5% to \$18.1 billion, compared with \$19.0 billion in the first nine months of 2012. Net earnings were \$2.5 billion, or \$5.31 per diluted share, compared with \$2.3 billion, or \$4.87 per diluted share, for the first nine months of 2012. Operating earnings for the first nine months of 2013 were \$2.2 billion, or \$4.78 per diluted share, compared with \$2.4 billion, or \$5.12 per diluted share, in 2012. Excluding the negative impact of \$.58 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share rose 4.7% for the first nine months of 2013.

Total investments and cash at the end of September 2013 were \$106.7 billion, compared with \$103.9 billion at June 30, 2013.

In the third quarter, Aflac repurchased approximately \$18.5 million, or about 308,000 shares, of its common stock. For the first nine months of the year, the company purchased \$298 million, or 5.6 million of its shares. At the end of September, the company had 16.9 million shares available for purchase under its share repurchase authorization.

Shareholders' equity was \$14.7 billion, or \$31.47 per share, at September 30, 2013, compared with \$13.7 billion, or \$29.46 per share, at June 30, 2013. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$135 million, compared with a net unrealized loss of \$209 million at the end of June 2013. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 19.8%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 19.4% for the third quarter, or 23.0% excluding the impact of the yen.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income rose 6.7% in the third quarter. Net investment income increased 16.2%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 45% of Aflac Japan's third quarter investment income was dollar-denominated. Total revenues were up 7.8%. The pretax operating profit margin decreased slightly in the third quarter to 19.2% from 19.3% in the prior year, reflecting a flat expense ratio and a slight increase in the benefit ratio. Pretax operating earnings in yen increased 7.1%. For the first nine months of the year, premium income in yen increased 8.3% and net investment income rose 13.3%. Total revenues in yen were up 9.1%, and pretax operating earnings grew 12.6%.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2013 was 98.93, or 20.5% weaker than the average rate of 78.64 in the third quarter of 2012. For the first nine months, the average exchange rate was 96.61, or 17.7% weaker than the rate of 79.47 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the third quarter and first nine months were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

In dollar terms, premium income decreased 15.2% to \$3.7 billion in the third quarter. Net investment income was down 7.7% to \$659 million. Total revenues decreased 14.4% to \$4.4 billion. Pretax operating earnings declined 14.9% to \$846 million. For the first nine months, premium income was \$11.4 billion, or 11.1% lower than a year ago. Net investment income fell 6.9% to \$2.0 billion. Total revenues were down 10.4% to \$13.4 billion. Pretax operating earnings were \$2.8 billion, or 7.4% lower than a year ago.

In the third quarter, total new annualized premium sales fell 41.9% to ¥32.4 billion, or \$327 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 12.0% in the quarter. As expected, sales of the WAYS product declined sharply in the third quarter, leading to a 64.9% decrease in bank channel sales.

For the first nine months of the year, new annualized premium sales were down 27.8% to ¥116.5 billion, or \$1.2 billion, and third sector sales were flat.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 3.1% to \$1.3 billion in the third quarter. Net investment income was up 4.2% to \$159 million. Total revenues increased 2.9% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin increased slightly to 18.5% from 18.4% a year ago, reflecting improvement in the benefit ratio. Pretax operating earnings were \$269 million, an increase of 3.3% for the quarter. For the first nine months, total revenues were up 3.4% to \$4.3 billion and premium income rose 3.5% to \$3.9 billion. Net investment income increased 3.6% to \$473 million. Pretax operating earnings were \$833 million, 5.5% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales decreased 1.5% in the quarter to \$330 million. Additionally, persistency in the quarter was 76.7%, compared with 76.9% a year ago. For the first nine months of the year, total new sales declined 1.7% to \$1.0 billion.

DIVIDEND

The board of directors increased the quarterly cash dividend by 5.7%, effective with the fourth quarter. The fourth quarter dividend of \$.37 per share is payable on December 2, 2013, to shareholders of record at the close of business on November 20, 2013. This marks the 31st consecutive year in which the dividend has been increased.

OUTLOOK

Commenting on the company's third quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "Aflac Japan's financial results were consistent with our expectations and guidance for the quarter, and we remain on track for the full year. As anticipated, Aflac Japan's overall sales were down considerably in the third quarter due to significantly lower sales of our first sector products. However, I am very pleased Aflac Japan's sales of third sector products were up markedly. This reflects the successful August launch of our new medical product, which we anticipate will continue to be well-received by consumers. We now believe Aflac Japan's 2013 third sector sales will be at the high end of our range of flat to up 5% for the full year.

"As we look to the future, I am very pleased with our ability to enhance Aflac Japan's distribution system. As you'll recall, Aflac Japan and Japan Post Holdings entered into a new agreement in July 2013, further expanding our distribution and opportunities to gain access to new consumers with our cancer insurance products. This new agreement also highlights the overall strength of the Aflac brand, our reputation for quality customer service, and the value our cancer insurance products provide.

"Aflac U.S. sales declined 1.5% in the third quarter, leading to a decrease of 1.7% for the first nine months of the year. While the unemployment rate has shown some signs of improvement, hiring remains weak, especially at smaller employers where 90% of our business is written. We believe the need for our products remains very strong and are taking measures to better reach potential customers. We continue to work on enhancing distribution capabilities, including initiatives that benefit our field force and the broker community. At the same time, we seek opportunities to leverage our strong brand and relevant product portfolio in the evolving health care environment.

"I am pleased that Aflac Japan's new money yield for the first nine months of the year was 2.87%, which is significantly higher than our new money yield of 2.27% in the first nine months of 2012. Though our decision to underweight the allocation to U.S. corporate bonds in the third quarter resulted in a lower new money yield, it will help reduce the impact of the interest rate volatility on our solvency margin ratio (SMR). In light of the financial market volatility in both the United States and Japan, our investment team continues to carefully evaluate investment options related to our asset allocation, as well as strategies to help mitigate interest rate risk. As such, we expect to allocate the majority of fourth quarter cash flows to Japanese Government Bonds (JGBs) and underweight the allocation to hedged U.S. corporate bonds. We

anticipate the majority of our yen-denominated new purchases will be placed in the policy reserve matching (PRM) category, which will help protect the SMR against fluctuation in yen interest rates. As such, we expect to invest fourth quarter cash flows in JGBs, which will result in a full year allocation of 51% in yen-denominated securities and 49% in dollar-denominated securities.

"An important aspect of our business is maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and bondholders, as measured by the risk-based capital (RBC) ratio and the SMR. While we have not yet completed our statutory or FSA financial statements for the third quarter, we estimate our quarterly RBC ratio at September 30 will be around 750%, which is higher than our 2012 year-end ratio of 630%. Additionally, we estimate that as of September 30, 2013, Aflac Japan's SMR will be approximately 730%, compared with 585% at the end of the second quarter. This improvement is primarily attributable to the execution of a reinsurance agreement in Japan.

"Enhancing our capital ratios has given us greater confidence to expand our share repurchase. For 2013, we initially expected share repurchase to be in the range of \$400 to \$600 million. We now anticipate purchasing \$800 million of our shares this year. Previously, we had communicated 2014 share repurchase to be in the range of \$600 to \$900 million for the year. We now anticipate 2014 share repurchase in the range of \$800 million to \$1 billion. I am also pleased with the action by the board of directors to increase the quarterly cash dividend by 5.7%, effective with the fourth quarter of 2013. This marks the 31st consecutive year of increasing our cash dividend. Our objective is to grow the dividend at a rate generally in line with operating earnings before the impact of foreign currency translation.

"As we have stated previously, our expectation is to increase spending in the last quarter of the year, particularly on product promotion, advertising and IT initiatives. With three quarters completed, I want to reaffirm our 2013 objective to increase operating earnings per diluted share 4% to 7%, excluding the impact of the yen. Within that range, we expect operating earnings to increase approximately 5% for the full year, before the impact of foreign currency. If the yen averages 95 to 100 to the dollar for the last three months of the year, we would expect reported operating earnings for the fourth quarter to be in the range of \$1.38 to \$1.43 per diluted share. Under that scenario, we would expect full year operating earnings of \$6.16 to \$6.21 per diluted share.

"If the yen averages 95 to 100 to the dollar for the fourth quarter 2013 and full year 2014, we would expect 2014 operating earnings per diluted share to be in the range of \$6.28 to \$6.52, which is a growth rate of approximately 2% to 5% on a currency neutral basis. Our 2014 EPS objective will benefit significantly from increased share repurchase activities, but will also be challenged by several headwinds. Those include a difficult low-interest-rate environment in Japan, sizeable expenditures in both Japan and the U.S. to enhance our operational infrastructure, and an increase in Japan's consumption tax, rising from 5% to 8% starting in April 2014. It is important to note that absent certain headwinds and tailwinds, our 2014 EPS growth rate objective would have been comparable with our 2013 EPS growth rate. As we look to the future, we anticipate the headwinds we face in 2014 will diminish significantly in 2015. We continue to believe we are well-positioned in the two best insurance markets in the world."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac individual and group insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For seven consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2013, FORTUNE magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 15th consecutive year. Also, in 2013, FORTUNE magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 12th time, ranking the company number one in the life and health insurance category. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com, as well as a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial

sector that includes separate listings of the company's sovereign and financial investments in both perpetual and peripheral Eurozone securities.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, October 30, 2013.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,886	\$ 6,847	(14.0) %
Benefits and claims	3,485	3,932	(11.4)
Total acquisition and operating expenses	1,332	1,435	(7.2)
Earnings before income taxes	1,069	1,480	(27.8)
Income taxes	367	463	
Net earnings	\$ 702	\$ 1,017	(30.9)%
Net earnings per share – basic	\$ 1.51	\$ 2.17	(30.4)%
Net earnings per share – diluted	1.50	2.16	(30.6)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	464,324	467,422	(.7)%
Diluted	467,391	469,721	(.5)
Dividends paid per share	\$.35	\$.33	6.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 18,138	\$ 18,989	(4.5) %
Benefits and claims	10,417	11,341	(8.1)
Total acquisition and operating expenses	3,933	4,225	(6.9)
Earnings before income taxes	3,788	3,423	10.7
Income taxes	1,305	1,138	
Net earnings	\$ 2,483	\$ 2,285	8.7 %
Net earnings per share – basic	\$ 5.34	\$ 4.90	9.0 %
Net earnings per share – diluted	5.31	4.87	9.0
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	465,325	466,702	(.3)%
Diluted	468,052	468,951	(.2)
Dividends paid per share	\$ 1.05	\$.99	6.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$106,712	\$ 124,215	(14.1)%
Deferred policy acquisition costs	9,173	10,283	(10.8)
Other assets	4,033	3,342	20.7
Total assets	\$119,918	\$ 137,840	(13.0)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 93,937	\$ 104,978	(10.5)%
Notes payable	4,953	4,401	12.5
Other liabilities	6,370	12,476	(48.9)
Shareholders' equity	14,658	15,985	(8.3)
Total liabilities and shareholders' equity	\$119,918	\$ 137,840	(13.0)%
Shares outstanding at end of period (000)	465,710	468,724	(.6)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 687	\$ 831	(17.2)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	41	124	
Hedge costs related to foreign currency investments	(4)	(2)	
Impact of other derivative/hedging activities	(22)	64	
Net earnings	\$ 702	\$ 1,017	(30.9)%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.47	\$ 1.77	(16.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.09	.26	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.01)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	(.05)	.13	
Net earnings per diluted share	\$ 1.50	\$ 2.16	(30.6)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,236	\$ 2,400	(6.8)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	138	(185)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(12)	(2)	
Impact of other derivative/hedging activities	121	72	
Net earnings	\$ 2,483	\$ 2,285	8.7 %
Operating earnings per diluted share	\$ 4.78	\$ 5.12	(6.6)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.30	(.40)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.03)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	.26	.15	
Net earnings per diluted share	\$ 5.31	\$ 4.87	9.0 %

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2013	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(11.2)%	5.8%
Net investment income	(5.6)	5.2
Total benefits and expenses	(10.3)	6.8
Operating earnings	(17.2)	(5.5)
Operating earnings per diluted share	(16.9)	(5.1)

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2013	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(7.8)%	7.1%
Net investment income	(5.0)	4.3
Total benefits and expenses	(7.8)	6.9
Operating earnings	(6.8)	4.5
Operating earnings per diluted share	(6.6)	4.7

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2013 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2012</u>	<u>Yen Impact</u>
79.81*	\$ 6.86 - 7.06	3.9 - 7.0%	\$ -
90	6.37 - 6.57	(3.5) - (.5)	(.49)
95	6.17 - 6.37	(6.5) - (3.5)	(.69)
100	5.99 - 6.19	(9.2) - (6.2)	(.87)
105	5.83 - 6.03	(11.7) - (8.6)	(1.03)

*Actual 2012 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; concentration of business in Japan; increased derivative activities; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunications, information technology, and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667, FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com

Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or lkane@aflac.com

###